

かん じ おん どく め い じん
漢字音読名人

《2年》



がつ き
2・3学期

名前

光村配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏のページは、友達との聞き合いに使います。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

分

このケーキ

半分ずつに分けましょう


☐ 虫の名前が分かる本。

☐ 一時間は六十分。

☐ 良いお天気で

気分がいいな。



回

「一回、二回」

縄を回して縄跳びだ


☐ 生活科で

こま回しをした。


☐ 何回もやり

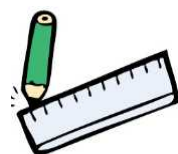
やっと回れた逆上がり。


☐ マットの上で一回転。


直

直線が

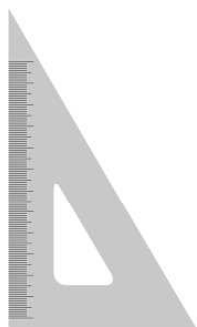
ゆがんでしまい引き直す


☐ 計算まちがいを

直す。


☐ 正直者の

花咲かじいさん。


☐ 直角三角形。


75

サイン

分

このケーキ

半分ずつに分けましょう



□虫の名前が分かる本。



□一時間は六十分。



□良いお天気で

気分がいいな。



76

サイン

回

「一回、二回」

縄なわを回まわして縄跳びだ

□生活科で

こま回しをした。



□何回もやり

やっと回れた逆上さかがり。□マットの上で一回てん転。

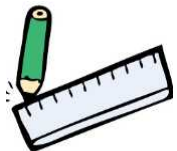
77

サイン

直

直線が

ゆがんでしまい引き直す

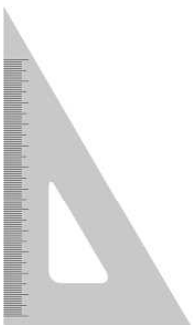


□計算まちがいを

直す。

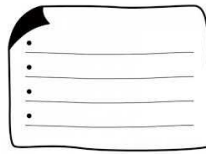
□正直もの者の花咲さかじいさん。

□直角三角形。



紙

画用紙は

絵かき^えに使う^{つか}白^{しろ}紙^{かみ}□ 紙^{かみ}切^きれにメモ^{めも}をする。□ 半紙^{はんし}に字^じを書^かく。□ 手紙^{てがみ}を書^かいて出^だしました。

遠

遠^{とお}くまで遠足^{えんそく}に行^いきました□ 僕^{ぼく}の知^しらない遠^{とお}くの町^{まち}。□ 遠回^{とおまわ}りして帰^{かえ}る。□ 遠足^{えんそく}の思^{おも}い出^でを作文^{さくぶん}に書^かく。

友

君^{きみ}は一^{いち}番^{ばん}の友^{とも}達^{だち} 親^{しん}友^{ゆう}だ□ 友^{とも}達^{だち}と虫^{むし}取^とりをした。□ クラスの友^{とも}達^{だち}は級^{きゅう}友^{ゆう}。□ 僕^{ぼく}には三^{さん}人^{にん}の友^{ゆう}人^{じん}が^いる。

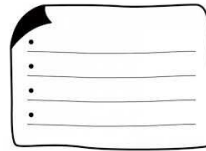
紙

画用紙は

絵かきに使う白い紙



□紙切れにメモをする。



□半紙に字を書く。



□手紙を書いて

出しました。



遠

遠くまで

遠足に行きました



□僕の知らない遠くの町。



□遠回りして帰る。



□遠足の思い出を

作文に書く。



友

君は

一番の友達 親友だ



□友達と虫取りをした。



□クラスの友達は級友。



□僕には三人の

友人在る。



81

一十吉直草朝朝朝

朝

朝が来た

今日も朝食おいしいな



□ こんな計算、朝飯前だ。



□ 新聞の朝刊を読む。



□ 今朝は早く起きられた。



82

ユカ立彦彦彦顔顔

顔

顔を洗うことを

洗顔という



□ 君の笑顔は素敵だね。



□ 顔色が良くないよ。



大丈夫？

□ 顔面にボールが当たった。



83

ノルニ毎毎毎

毎

歯みがきは

毎朝毎晩忘れずに



□ 毎日お手伝いをする。



□ 毎年、春には

ツバメが来る。



(*「まいねん」とも読む)

□ 毎度ありがとうございます。

ございます。



81

朝

朝が来た

今日も朝食おいしいな



□こんな計算、朝飯前だ。

□新聞の朝刊^{かん}を読む。□今朝は早く起き^おられた。

82

顔

顔を洗^{あら}うことを洗顔^{せん}という□君^{きみ}の笑顔^えは素敵^{すてき}だね。□顔色^{よく}が良くないよ。大丈夫^{じょうぶ}？□顔面^{めん}にボールが当^あたった。

83

毎

歯^はみがきは毎朝^{まい}毎晩^{ばん}忘れ^{わす}ずに□毎日^{まい}お手伝^{つだ}いをする。□毎年^{まい}、春^{はる}には
ツバメが来^くる。□毎度^{まいど}ありがとう
ございます。

当

くじ引きで当選！

一等賞が当たったぞ



宿題をするのは

当たり前。



布団を日光に当てる。



当番の仕事をする。



間

休み時間

その間にトイレに行こう



雲の切れ間から青い空が

見える。



人間っていいな。



二時間目の用意をする。



昼

お昼だな

今日の昼食 カレーだよ



夏は昼が長い。



昼休み、図書室で

読書した。



昼夜ぶっ通しで

工事する。



当

くじ引きで当選！

一等賞が当たったぞ

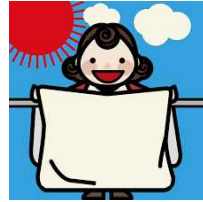


宿題をするのは

当たり前。



布団を日光に当てる。



当番の仕事をする。



間

休み時間

その間にトイレに行こう



雲の切れ間から青い空が

見える。



人間っていいな。



二時間目の用意をする。



昼

お昼だな

今日の昼食カレーだよ

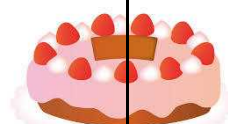


夏は昼が長い。

昼休み、図書室で
読書した。昼夜ぶっ通しで
工事する。

半

このケーキ
わたしと姉で半分こ



□ 今、三時半です。



□ 今日は学校が

半日で終わる日。



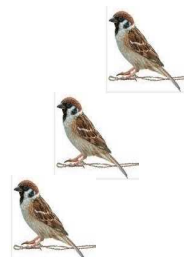
□ 計画半ばで中止になった。



電

電線に

すずめが三羽止まってる



□ 電話で長話を

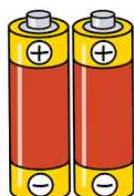
しているお母さん。



□ 電気で動くから電車。



□ 新しい電池を店で
買ってくる。



外

家の外に出かける
ことを「外出する」という



□ 鬼は外、福は内。



□ 外国に行ってみよう。

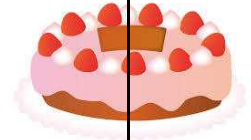


□ 矢が的を外れた。



半

このケーキ
わたし
私と姉で半分こ



□ 今、三時半です。



□ 今日、学校が

半日で終わる日。



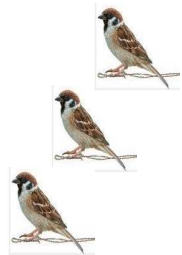
□ 計画半ばで中止になった。



電

電線に

すずめが三羽止まってる



□ 電話で長話を

しているお母さん。

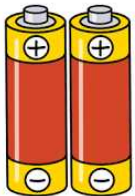


□ 電気で動くから電車。



□ 新しい電池を店で

買ってくる。



外

家の外に出かける
ことを「外出する」という



□ 鬼は外、福は内。



□ 外国に行ってみよう。



□ 矢が的を外れた。



楽

音楽の時間は

楽しく歌いましょう


☐ 遠足の楽しい思い出。

☐ 休んだら体が楽になった。

☐ 新しく買った

楽器を鳴らす。



親

両親と

顔がそっくり親子だね


☐ 親の心、子知らず。

☐ あの子と僕は親しい。

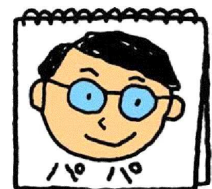
☐ 親切に道を教える。


父

お父さん

父親とも

いますね


☐ お父さんが

夜遅く帰ってきた。


☐ 父の車は新車だ。

☐ 父と母を父母という。


ママ

母

母親を

「お母ちゃん」と

呼んでるよ



□ 休日にお母さんと

買い物に行く。



□ 母の日に花をプレゼント。



□ 母と子を母子という。



イロイロ兄

兄

僕の兄

「お兄ちゃん」と

呼んでいる



□ 僕の兄は五年生だ。



□ お兄ちゃんは大きい。



□ 兄弟げんかをする。



ニムニム弟

弟

弟と

兄弟げんかをよくします



□ ニつ年下の弟は

とても元気だ。



□ 三人兄弟の長男。



□ 大工の親方に

弟子入りする。



母

母親を

「お母ちゃん」と

呼んでるよ



サイン

□休日にお母さんと

買い物に行く。



□母の日に花をプレゼント。



□母と子を母子という。



兄

僕の兄

「お兄ちゃん」と

呼んでいる



サイン

□僕の兄は五年生だ。



□お兄ちゃんは大きい。



□兄弟げんかをする。



弟

弟と

兄弟げんかをよくします



サイン

□二つ年下の弟は

とても元気だ。



□三人兄弟の長男。



□大工の親方に

弟子入りする。



午



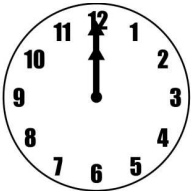
午後三時

おやつの時だ
うれしいな
☐ 今日の午前中は雨だった。

☐ 明日の午後は
晴れるでしょう。

☐ 昼の十二時を

「正午」という。



夜

夜になり

十五夜の月が出た


☐ 夏の夜空に

天の川。

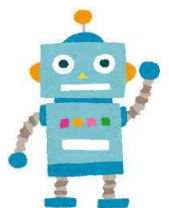

☐ 今夜はきれいな星空だ。

☐ 夜明けにニワトリが鳴く。


科

科学者になって

ロボットを作ってみよう


☐ 好きな科目は、音楽です。

☐ 生活科で

町探検に行った。


☐ 三年生から理科が始まる。


午



午後三時

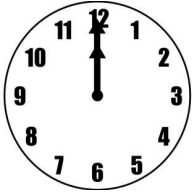
おやつの時だ
うれしいな

□今日の午前中は雨だった。

□明日の午後は
晴れるでしょう。

□昼の十二時を

「正午」という。



夜

夜になり

十五夜の月が出た



□夏の夜空に

天の川。



□今夜はきれいな星空だ。



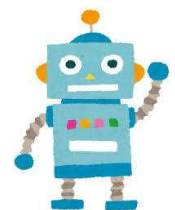
□夜明けにニワトリが鳴く。



科

科学者しゃになって

ロボットを作ってみよう



□好きな科目は、音楽です。

□生活科で

町探検たんけんに行った。□三年生から理科はじが始まる。

国

日本の

となりの国は中国だ

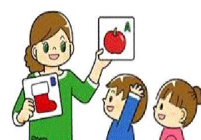

☐ 日本は海に囲まれた島国だ。

☐ 国語の教科書を音読する。

☐ 外国の人と話す。


語

外国語

☐ 小学校から習います

☐ 国語の時間に作文を書く。

☐ とても楽しい物語。

☐ 語り手と聞き手。


算

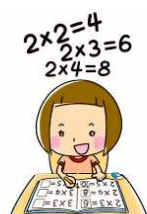
算数の

☐ 計算なんか簡単だ

☐ 足し算と引き算。

$$\begin{aligned} 8+6 &= \\ 8-6 &= \\ 7+4 &= \\ 7-4 &= \end{aligned}$$

☐ 算数の宿題をする。

☐ かけ算の九九を学ぶ。


国

日本の

となりの国は中国だ



□日本は海に囲まれた

島国だ。



□国語の教科書を

音読する。



□外国の人と話す。



サイン

語

外国語

小学校から習います



□国語の時間に

作文を書く。



□とても楽しい物語。



□語り手と聞き手。



サイン

算

算数の

計算なんか簡単だ



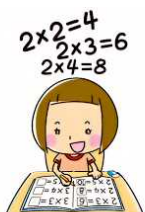
□足し算と引き算。

$$\begin{array}{l} 8+6= \\ 8-6= \\ 7+4= \\ 7-4= \end{array}$$

□算数の宿題をする。



□かけ算の九九を学ぶ。



サイン

活

木の上で

生活しているリス



□生活科で秋見つけをする。



□古い木を切って活用する。



□この町は活気にあふれている。



工

工夫して

紙工作をやってみた



□図工の時間は楽しいな。



□自動車工場の見学。



□大工さんが家を建てる。



自

自分の力で

勉強するのが自習



□自ら進んで行動する。



□自分のことは

自分でしよう。



□自転車で公園に行く。



活

木の上で

生活しているリス



□生活科で秋見つけをする。



□古い木を切って活用する。



□この町は活気に

あふれている。



工

工夫して

紙工作をやってみた



□図工の時間は楽しいな。



□自動車工場の見学。



□大工さんが家を建てる。



自

自分の力で

勉強するのが自習



□自ら進んで行動する。



□自分のことは

自分でしよう。



□自転車で公園に行く。



時

七時半
しちじはんもう学校へ行く時だ
もうがっこうへいくときだ□ おやつの時間だ、
じかん午後三時。
ごごさんじ□ 学校で楽しい時間は
がっこうでたのしいじかんは昼休み。
ひるやすみ□ 目覚まし時計が鳴る。
めざましどけいがなる

帰

家に帰ることを
いえかへることを「帰宅」といいます
「きたく」といいます□ 帰ったら
かえたら遊ぼうね。
あそぼうね□ 帰り道で雨に降られた。
かえみちであめにふられた□ 外国から帰国する。
がいこくからきこくする

何

プレゼント

中には何が入っているかな
なかにはなにがはいっているかな□ 何を食べようか
なにをたべようか考える。
かんがえる□ 何という名前の花かな。
なにというなまえの花かな□ 「今、何時？」
いま、なんじ
と母に聞く。
ははにきく

時

七時半

もう学校へ行く時だ

□ おやつ^{おやつ}の時間だ、

午後三時。



□ 学校で楽しい時間は

昼休み。

□ 目覚まし時計^{めざましどけい}が鳴る。

帰

家に帰ることを

「帰宅^{たく}」といいます□ 帰^{かえ}ったら遊^{あそ}ぼうね。□ 帰り道で雨に降^ふられた。

□ 外国から帰国する。



何

プレゼント

中には何が入っているかな

□ 何を食^くべようか

考える。



□ 何という名前の花かな。



□ 「今、何時？」

と母に聞く。



合

答えたら

全部合ってた合格だ



□ 手を合わせて合掌。



□ 出発の合図の笛が鳴る。



□ 合計した数は

いくつですか。



里

山から里へ

下りてきたサル



□ 人里を離れた山奥。



□ 里芋はおいしいね。



□ 「一里」は

約四キロメートル。



週

日・月・火・水

木・金・土

一週間

□ 一週間は七日です。



□ 今週は交通安全週間だ。



□ 来週は

良い天気でしょう。



108

合

答えたら

全部合ってた合格だ


☐ 手を合わせて合掌。

☐ 出発の合図の笛が鳴る。

☐ 合計した数は

いくつですか。



109

里

山から里へ

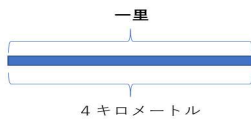
下りてきたサル


☐ 人里を離れた山奥。

☐ 里芋はおいしいね。

☐ 「一里」は

約四キロメートル。



110

週

日・月・火・水・

木・金・土

一週間


☐ 一週間は七日です。

☐ 今週は交通安全週間だ。

☐ 来週は

良い天気でしょう。



番

一番で

ゴールできたよ

マラソン大会


☐ 出席番号の順番に

並ぶ。


☐ 今週の掃除当番は

音楽室だ。


☐ 今日のテレビ番組を

調べる。



画

映画を見る

計画を立てる


☐ 「水」の画数は四画だ。

部首	水
筆順	1 2 3 4
画	4

☐ 図画工作を図工という。

☐ 絵をかく人を画家という。


用

画用紙を

用いて作る

馬の親子


☐ 火の用心 マッチ一本

火事の元。


☐ 遠足の用意をする。

☐ 家の用事があるので

遊べない。



111

サイン

番

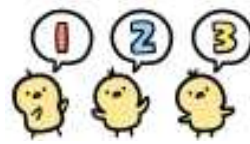
一番で

ゴールできたよ

マラソン大会



出席番号の順番に
並ぶ。



今週の掃除当番は

音楽室だ。



今日のテレビ番組を

調べる。



112

サイン

画

映画を見る

計画を立てる



「水」の画数は四画だ。

部首	しゅ
水	みづ
ひつじかん	筆順
丨 ㇀ ㇀ ㇀ ㇀	
4	画

図画工作を図工という。



絵をかく人を画家という。



113

サイン

用

画用紙を

用いて作る

馬の親子



火の用心 マッチ一本
火事の元。



遠足の用意をする。



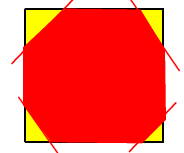
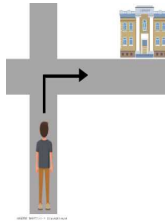
家の用事があるので
遊べない。



114

ノ ㄥ ㄥ 角 角 角 角

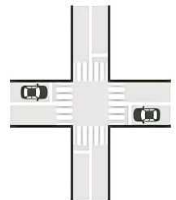
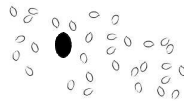
角

四角形
し かく けい角を切ったら八角形
かく を き たら はち かく けい□あの角を曲がると、
あの かく を ま がる と、僕の家。
ぼく の いえ。□牛の頭には角がある。
うし の あたま に は つの 角 が ある。□南の方角に一番星を
みなみ の ほう かく に いち ばん ぼし を
見つけた。
み つ け た。

115

、 一 六 歩 交

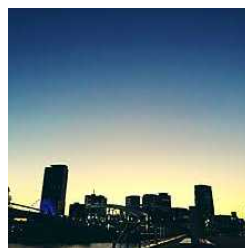
交

道と道
みち と みち交わるところが交差点
まじ わ る と ろ 所 が こう さん 点□友達とあいさつを交わす。
とも だ ち と あい さ つ を か わ す。□米の中に
こめ の なか に
小石が交じっていた。
こい し が ま じ っ て い た。□当番を交代してもらった。
とう ばん を こう たい し て も ら っ た。

116

一 日 明 明 明

明

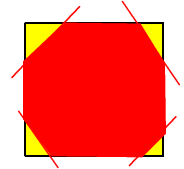
照明をついたら
しやうめい を つ い た ら部屋が明るくなった
へや が あか く な っ た□外灯の明かりも消えて
がいとう の 明かり も き えて
もう夜明け。
もう よ あ け。□その答えは
その こた え は
明らかにまちがいだ。
あき かに まち が い だ。□よく分かるように
よく わ か る よう に
説明する。
せつめい す る。

114

角

四角形

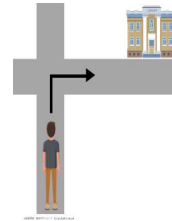
角を切ったら八角形



サイン

□あの角を曲がると、

僕の家。



□牛の頭には角がある。



□南の方角に一番星を見つけた。

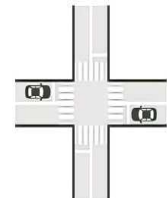


115

交

道と道

交わるところが交差点



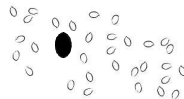
サイン

□友達とあいさつを交わす。

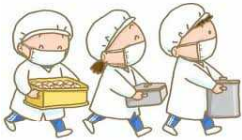


□米の中に

小石が交じっていた。



□当番を交代してもらった。



116

明

照明をつけたら

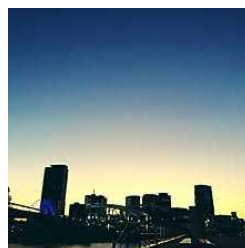
部屋が明るくなった



サイン

□外灯の明かりも消えて

もう夜明け。



□その答えは

明らかにまちがいだ。



□よく分かるように

説明する。



117

一口日月早星

星

星空だ



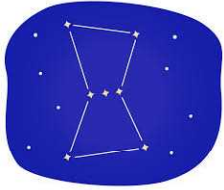
土星 金星よく見える



□流れ星を見た。

□星雲は星の集まり。

□冬の星座オリオン。



118

一亩申、東

東

東京は

大阪より東の方にある



□太陽が東から昇る。

□東風が吹くと

雨になるという。



□東北地方で地震が

起きた。



119

一亩申、京

京

京滋バイパス

を通過

京都に行く



□東京スカイツリーを見たい。



□京都にはたくさんの

寺がある。



□かわいい京人形を買う。



117

星

星空だ

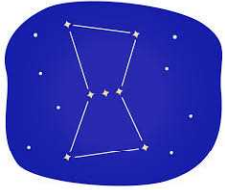


土星 金星よく見える

□流れ星を見た。

□星雲は星の集まり。

□冬の星座オリオン。



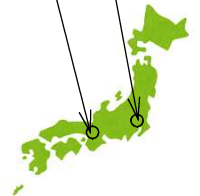
サイン

118

東

東京は

大阪より東の方にある



□太陽が東から昇る。

□東風が吹くと

雨になるという。



□東北地方で地震が

起きた。



サイン

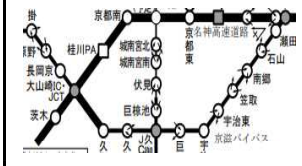
119

京

京滋バイパス

を|通|つて

京|都|に|行|く

□東京スカイツリーを
見|た|い。□京|都|には|た|く|さ|ん|の
寺|が|あ|る。

□か|わ|い|い|京|人|形|を|買|う。



サイン

120

一十ナ古古

古

古い時代を

古代という

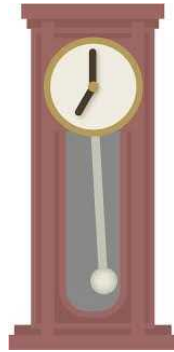


□古いアルバム写真を見る。

□大きなのっぽの古時計。



□中古車に乗っている。



121

一十エ寺寺

寺

金色に

輝くお寺

金閣寺



□おばあさんがお寺参り。

□山のお寺の鐘が鳴る。



□寺子屋は

昔の学校。



122

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、西

西

日本より

西にある西洋の国

ドイツやフランス



□西の空が夕焼けで真っ赤だ。

□西日が入って夏は暑い。



□関西国際空港から

外国に飛び立つ。



120

古

古い時代を

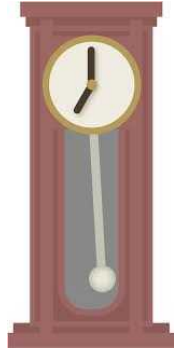
古代という



□古いアルバム写真を見る。



□大きなのっぽの古時計。



□中古車に乗っている。



121

寺

金色に

輝くお寺

金閣寺



□おばあさんがお寺参り。



□山のお寺の鐘が鳴る。



□寺子屋は

昔の学校。



122

西

日本より

西にある西洋の国

ドイツやフランス

□西の空が夕焼けで
真っ赤だ。

□西日が入って夏は暑い。



□関西国際空港から

外国に飛び立つ。



一ト止

止

信号の



赤は「止まれ」だ
一旦停止

□電池が切れて

時計が止まる。



□鳥が木に止まっている。

□ 雨あめで運動会うんどうかいが

中止ちゅうしになる。



□ みんなで使う道具は
大切に。

□ 横断歩道を渡る。

帰りなさい。



道

気^きをつけよう

道路に出るとき
細い道から



124

、レ止女 芹 首 首道 道

野

野原で

野球やきゅうをしている

□大根などの

野菜を売る店。



□ 野山のやまにいる鳥とりを

野鳥やちようという。



□ライオンは野生の動物だ。



123

サイン

止

信号の

赤は「止まれ」だ

一旦停止



□電池が切れて

時計が止まる。



□鳥が木に止まっている。



□雨で運動会が

中止になる。



124

サイン

道

気をつけよう

細い道から

道路に出るとき



□道草をしないで

帰りなさい。

□横断歩道を渡る。



□みんなで使う道具は

大切に。



125

サイン

野

野原で

野球をしている



□大根などの

野菜を売る店。



□野山にいる鳥を

野鳥という。



□ライオンは野生の動物だ。



126

原

原っぱを

はだして歩く原始人



サイン

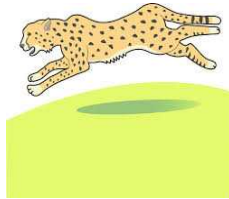
□ 野原で友達と

だち

鬼ごっこをした。



□ 広い草原を走るチーター。



□ ダイヤモンドの原石。



127

台

台風の強い風で

家が揺れる



サイン

□ すべり台 上から下まで

一直線。



□ 台所で料理を作る。



□ 踏み台から下りる。



128

船

風船を

船の上から飛ばしたよ



サイン

□ 新しい船が港に入る。

みなと



□ 船に乗って外国に行く。



□ 大きな船の船長さん。



米

ぜひ食^たべておいしいお米^{こめ}の近江^{おうみ}米^{まい}□ お米^{こめ}は日本^{にほん}人の主^{しゅ}食^{しょく}だ。□ 今年^{ことし}の新^{しん}米^{まい}格^{かく}別^{べつ}うまい。□ アメリカは米^{こめ}国^{こく}ともいう。

秋

さわやかな

秋^{あき}晴^ばれ秋^{しゅう}分^{ぶん}の日^ひ□ 夏^{なつ}が過^すぎて秋^{あき}が来^くる。□ 秋^{あき}の夜^よ長^{なが}に読^{どく}書^{しょ}する。□ 中^{ちゅう}秋^{しゅう}の名^{めい}月^{げつ}のお月^{つき}見^み。

作

ホッ^つトケ^きキ作^{つく}ったことを作^{さく}文^{ぶん}に書^かく□ 粘^{ねんど}土^どで人^{にん}形^{ぎやう}を作^{つく}る。□ スイミーの作^{さく}者^{しゃ}は

レオ・レオニ。

□ 素^す早^{ばや}い動^{どう}作^さで
木^きに登^{のぼ}るサル。

129

米

ぜひ食べて

おいしいお米の近江米


☐ お米は日本人の主食だ。

☐ 今年の新米
格別うまい。

☐ アメリカは米国ともいう。


130

秋

さわやかな

秋晴れ

秋分の日


☐ 夏が過ぎて秋が来る。

☐ 秋の夜長に読書する。

☐ 中秋の名月のお月見。


131

作

ホットケーキ

作ったことを作文に書く


☐ 粘土で人形を作る。

☐ スイミーの作者は
レオ・レオニ。

☐ 素早い動作で
木に登るサル。


理

理科室は

三年生から使います



□理科で草花の観察を

した。



□休んだ理由を先生に言う。



□自転車のパンクを

修理する。



少

少ないよ

少し増やしておこづかい



□塩を少々、砂糖も少々

入れるとおいしいよ。



□多少のずれはしかたがない。



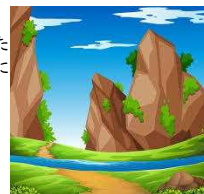
□少年よ大志を抱け。



谷

山と山の間の

くぼんだところが「谷」だ



□谷川のきれいな水。



□山の上から谷底を見る。



□谷間を流れる川。



132

理

理科室は

三年生から使います



□理科で草花の観察を

した。



□休んだ理由を先生に言う。



□自転車のパンクを

修理する。



133

少

少ないよ

少し増やしておこづかい



□塩を少々、砂糖も少々

入れるとおいしいよ。



□多少のずれはしかたがない。



□少年よ大志を抱け。



134

谷

山と山の間の

くぼんだところが「谷」だ



□谷川のきれいな水。



□山の上から谷底を見る。

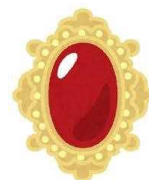


□谷間を流れる川。



細

この飾りかざり



細かい細工こまさいくがしてあるね

□ 細いけど強い

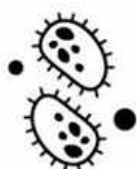


たこ糸いと。

□ 細かい雪が降ってきた。



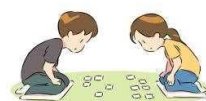
□目に見えない小さな細菌。



首

ひやくにん いっしゆ
百人一首

やりすぎて首が痛い



□キリンの首は長い。



□ 犬いぬに首輪くびわをつける。



□日本の首都は東京です。



鳴

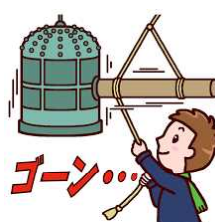
空そらでは雷鳴らいめい

鳥とりも鳴なき止やむ

嵐の夜



□
除^{じよ}
夜^や
の
鐘^{かね}
を



鳴らす。

□お昼ひるのサイレンが鳴なる。



□ 毛虫を見て



悲鳴ひめいを上げるあ。

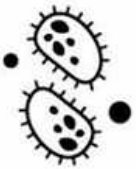
135

細この飾りかざり細かい細工さいこうがしてあるね

サイン

□ 細いけど強い

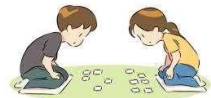
たこ糸。

□ 細かい雪ゆきが降ふってきた。□ 目に見えない小さな細菌きん。

136

首

百人一首

やりすぎて首くびが痛いいた

サイン

□ キリンの首は長い。

□ 犬いぬに首輪くわをつける。□ 日本の首都とは東京です。

137

鳴空では雷鳴らいめい

鳥も鳴き止む

嵐あらしの夜

サイン

□ 除夜じよの鐘かねを

鳴らす。



□ お昼のサイレンが鳴る。

□ 毛虫もうしを見て悲鳴ひめいを上げる。

心

一人は

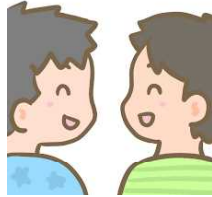
心細いけど

みんながいるから安心だ



□ 心も体も休めよう。

□ 友達がいるから心強い。



□ 病気の弟が心配だ。



冬

熊さんは

冬の間は冬眠してる



□ 寒い冬がやってきました。



□ 春、夏、秋、冬
四つの季節。



□ 一年で一番

夜の長い日
が冬至。



戸

戸を開けて

戸外に出て

遊びましょう



□ 入り口の戸をノックする。



□ 台風が近づき
雨戸を閉める。



□ 家の戸数を数える。



心

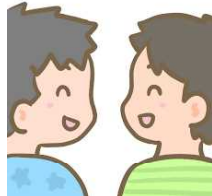
一人は

心細いけど

みんながいるから安心だ


☐ 心も体も休めよう。

☐ 友達がいるから心強い。

☐ 病気の弟が心配だ。


冬

熊さんは

冬の間は冬眠してる


☐ 寒い冬がやってきた。

☐ 春、夏、秋、冬、四つの季節。

☐ 一年で一番

夜の長い日が

冬至。



戸

戸を開けて

戸外に出て

遊びましょう


☐ 入り口の戸をノックする。

☐ 台風が近づき、雨戸を閉める。

☐ 家の戸数を数える。


141

一十主麦麦

麦

麦が実る

六月頃を麦秋という



□麦茶を飲んで

少し休もう。



□小麦粉をこねて

パンを作る。



□生麦生米生卵。



142

一々サササ茶

茶

喫茶店で

お茶でも飲んで

ゆっくりしましょう



□茶色と黒と白の

三毛猫。



□茶わんでご飯を食べる。



□麦の実で作る麦茶。



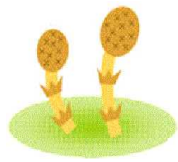
143

一十主地地

地

地面から

つくしが出たよ もう春だ



□デパ地下の食品売り場で

お買い物。



□地球は青くて丸い。



□地震で家が揺れる。



141

麦

麦が実る

六月頃を麦秋という



□麦茶を飲んで

少し休もう。



□小麦粉をこねて

パンを作る。



□生麦生米生卵。



142

茶

喫茶店で

お茶でも飲んで

ゆっくりしましょう



□茶色と黒と白の

三毛猫。



□茶わんでご飯を食べる。



□麦の実で作る麦茶。

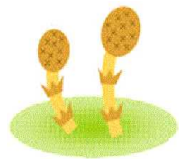


143

地

地面から

つくしが出たよ もう春だ



□デパ地下の食品売り場で

お買い物。



□地球は青くて丸い。



□地震で家が揺れる。



市

市内しなの市場いちばで

魚さかなや野菜やさいを売うっている



市場いちばとは

物ものを売うり買かいする所ところ。

市長しちやうさんのお話はなしを聞きく。



市立しりつ図書館としよかんで

本ほんを借かりる。



場

運動場うんどうじやう

砂場すなばで遊あそぶ

一年生いちねんせい



坂道さかみちを下くだると

広場ひろばがある。



自動車じどうしゃの工場こうじやうを

見学けんがくする。



使つかったものは

元もとの場所ばしょへ返かえす。



答

正しい答えただちたを

「正答せいとう」という



大きな声おおこえで答こたえる。



計算けいさんの答えこたを出だす。



アンケートに回かい答とうする。



144

市

市内の市場で

魚や野菜を売っている



サイン

□市場とは

物を売り買いする所。

□市長さんのお話を聞く。

□市立図書館で

本を借りる。



145

場

運動場

砂場で遊ぶ

一年生



サイン

□坂道を下ると

広場がある。

□自動車の工場を

見学する。

□使ったものは

元の場所へ返す。



146

答

正しい答えを

「正答」という



サイン

□大きな声で答える。

□計算の答えを出す。

□アンケートに回答する。



歩

一日に
いちにち歩く歩数は一万歩
あるほすういちまんぽ歩みを止めずに
あゆと進みましょう。
すす学校まで歩いて通う。
がっこうあるかよ道路では、歩道を歩く。
どうろあるほどうある

才

子どもは
こ遊びの天才だ
あそてんさい音楽の天才といわれた
おんがくてんさい

ベートーベン。

君には
きみ絵の才能がある。
えさいのう僕は今年八才です。
ぼくことしはっさい

門

門の前に
もんまえ門松を飾る
かどまつかざ校門であいさつをする
こうもん校長先生。
こうちようせんせいお寺の山門をくぐる。
てらさんもん門が閉まっていて
もんはい

入れない。



147

歩

一日に

歩く歩数は一万歩



サイン

□歩みを止めずに

進みましよう。



□学校まで歩いて通う。



□道路では、歩道を歩く。



148

才

子どもは

遊びの天才だ



サイン

□音楽の天才といわれた

ベートーベン。



□君には

絵の才能がある。



□僕は今年八才です。



149

門

門の前に

門松を飾る



サイン

□校門であいさつをする

校長先生。



□お寺の山門をくぐる。



□門が閉まっています

入れない。



150

フコ弓

弓

弓を引き

的を狙って

矢を射る
弓道

□ バイオリンの弓は馬の毛で作られている。

作られている。



□ 体を弓なりに反らせる。



□ 日本の国は

弓形を

している。



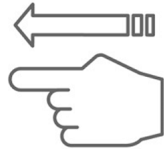
151

ホルンと矢

矢

矢印の

指す方向へ行きなさい



□ 矢が的に当たる。

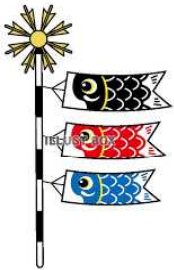


□ 矢が外れる。



□ こいのぼりの

先につける矢車。



152

ハニ言計

計

時計を使って

時間を計る

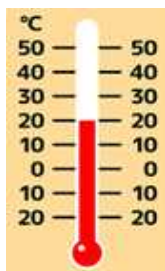


□ この式を

計算して答えを出そう。



□ 温度計で気温を調べる。



□ お楽しみ会の

計画を立てる。



150

サイン

弓

弓を引き

的を狙って

矢を射る 弓道



□ バイオリンの弓は馬の毛で作られている。

作られている。

□ 体を弓なりに反らせる。



□ 日本の国は

弓形を

している。



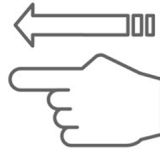
151

サイン

矢

矢印の

指す方向へ行きなさい



□ 矢が的に当たる。

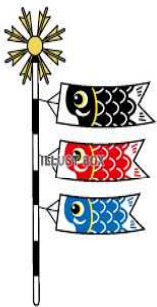


□ 矢が外れる。



□ こいのぼりの

先につける矢車。



152

サイン

計

時計を使って

時間を計る

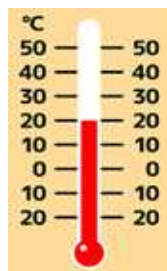


□ この式を

計算して答えを出そう。



□ 温度計で気温を調べる。



□ お楽しみ会の

計画を立てる。



153

いっしょに勉強する部屋

室

教室で

静かに自習をした



理科室・図工室・音楽室。

理科室

図工室

音楽室

温室で花を育てる。



雨の日は室内で遊ぶ。



154

いっしょに馬を引く

馬

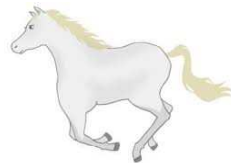
馬二頭

並んで馬車を引いている



白い馬が

走っていく。



昼休みに

竹馬に乗る。



馬車で

荷物を運ぶ。



155

いっしょに北へ行く

北

日本の一番北は

北海道



モンゴルは中国の北の方。



寒い北風が吹く。



東西南北、

四つの方角。



153

室

サイン

教室で

静かに自習をした



□理科室・図工室・音楽室。

理科室

図工室

音楽室

□温室で花を育てる。



□雨の日は室内で遊ぶ。



154

馬

サイン

馬二頭

並んで馬車を引いている



□白い馬が

走っていく。



□昼休みに

竹馬に乗る。



□馬車で

荷物を運ぶ。



155

北

サイン

日本の一番北は

北海道



□モンゴルは中国の北の方。



□寒い北風が吹く。



□東西南北、

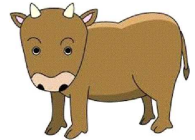
四つの方角。



156

牛

牛

近江牛
おうみぎゅう牛の肉では最高級
うしのにくではさいこうきゅう□ 黒い牛が
くろいうしのっそりと歩く。
ある□ 牛乳は体にいいよ。
ぎゅうにゅう からだ□ タ食で
たうしよく牛肉を食べる。
ぎゅうにく

157

走

走

助走から一気に
じよそう いっき全力で走り切った
ぜんりよく はし き□ 家まで走って帰りました。
いえ はし かえ□ お母さんからの
おはし かあ走り書きのメモ。
はし が□ リレーで力走する。
りきそう

158

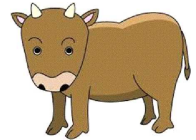
売

売

新聞も
しんぶん本も売ってる駅の売店
ほん も うえてる えき ばいてん□ スーパーの大売り出し。
おおいう だ□ あっという間に
あつというま売り切れた。
うり き□ 新しいゲームの発売日。
あたらしい ゲーム はっぱいび

156

牛

近江牛^{おうみ}牛の肉では最高級^{さいきゅう}

サイン

□黒い牛が

のっそりと歩く。

□牛乳^{にゅう}は体にいいよ。

□夕食で

牛肉を食べる。



157

走

助走^{じよ}から一気に全力^{ぜん}で走り切った

サイン

□家まで走って帰りました。



□お母さんからの

走り書きのメモ。



□リレーで力走する。



158

売

新聞も

本も売ってる駅の売店^{えき}

サイン

□スーパーの大売り出し。



□あっという間に

売り切れた。

□新しいゲームの発売日^{はっ}。

弱

強い動物が

弱い動物を食べる

弱肉強食の世界



□ 病気で体が弱る。



□ 弱音をはくな、

あと少しだ。



□ 声の強弱に気をつけて

歌を歌う。

**強**

相手は強いぞ

強敵だ



□ 弱気になるな、

強気で行こう。



□ 算数の勉強をがんばる。



□ 強引なやり方を

する北風。



弱

強い動物が

弱い動物を食べる

弱肉強食の世界


☐ 病気で体が弱る。

☐ 弱音をはくな、

あと少しだ。


☐ 声の強弱に気をつけて

歌を歌う。

**強**

相手は強いぞ

強敵だ


☐ 弱気になるな、

強気で行こう。


☐ 算数の勉強をがんばる。

☐ 強引なやり方を

する北風。



2・3学期の漢字

たしかめ

16

79	78	77	76	75
遠	紙	直	回	分
遠くまで遠足に行きました。	画用紙は、絵かきに使う白い紙。	直線がゆがんでしまい、引き直す。	一回、二回と縄を回して縄跳び。	ケーキを半分ずつに分ける。

たしかめ

17

84	83	82	81	80
当	毎	顔	朝	友
布団を日光に当てる。	毎年、春にはツバメが来る。	顔を洗うことを洗顔という。	朝が来た。今日も朝食おいしいな。	君は一番の友達、親友だ。

たしかめ

18

89	88	87	86	85
外	電	半	昼	間
家の外に出かけることが「外出」。	新しい電池を店で買う。	このケーキ、私と姉で半分こ。	お昼だな。今日の昼食、カレーだよ。	休み時間の間にトイレに行く。

たしかめ

19

94	93	92	91	90
兄	母	父	親	楽
僕の兄は五年生だ。	母親を「お母さん」と呼んでいる。	お父さんは、父親ともいう。	両親と顔がそっくり。親子だね。	音楽の時間は楽しく歌いましょう。

たしかめ

16

75	ケーキを半ぶんずつにわける。
76	いっかい、にかいと縄をまわして縄跳び。
77	ちよくせんがゆがんでしまい、ひきなおす。
78	画用しは、えかきに使うしろいかみ。
79	とおくまでえんそくにいきました。

たしかめ

17

80	君はいち番のとも達、親ゆうだ。
81	あさがきた。きょうもちょうしよくおいしいな。
82	かおを洗うことを洗がんという。
83	まいとし、はるにはツバメがくる。 (*「まいねん」とも読む)
84	布団をにつこうにあてる。

たしかめ

18

85	やすみ時かんのあいだにトイレにいく。
86	おひるだな。きょうのちゅうしよく、カレーだよ。
87	このケーキ、私とあねではんぶんこ。
88	あたらしいでんちをみせでかう。
89	いえのそとにでかけることが「がいしゅつ」。

たしかめ

19

90	おんがくの時かんはたのしくうたいましょう。
91	両しんとかおがそつくり。おやこだね。
92	おとうさんは、ちちおやともいう。
93	ははおやを「おかあさん」と呼んでいる。
94	僕のあにはごねんせいだ。

たしかめ

20

99	99	97	96	95
国	科	夜	午	弟
日本 <small>に</small> の <small>と</small> なり <small>の</small> 国 <small>は</small> 中国 <small>だ</small> 。	好き <small>す</small> な科目 <small>は</small> 、音楽 <small>で</small> す。	夜 <small>に</small> なり、十五夜 <small>の</small> 月 <small>が</small> 出 <small>た</small> 。	今日 <small>の</small> 午前中 <small>は</small> 雨 <small>だ</small> った。	弟 <small>は</small> とて <small>も</small> 元氣 <small>だ</small> 。

たしかめ

21

104	103	102	101	100
自	工	活	算	語
自分 <small>の</small> こ <small>と</small> は自分 <small>で</small> し <small>よ</small> う。	工夫 <small>くふう</small> して、紙工作 <small>を</small> や <small>っ</small> てみ <small>た</small> 。	木 <small>の</small> 上 <small>で</small> 生 <small>活</small> し <small>て</small> い <small>る</small> リ <small>ス</small> 。	算数 <small>の</small> 計 <small>算</small> な <small>ん</small> か簡 <small>かん</small> 単 <small>たん</small> だ。	外国語 <small>を</small> 小 <small>学</small> 校 <small>か</small> ら習 <small>なら</small> う。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
里	合	何	帰	時
山 <small>か</small> ら里 <small>へ</small> 下 <small>り</small> てき <small>た</small> サル。	答 <small>こ</small> えが全 <small>ぜん</small> 部 <small>ぶ</small> 合 <small>あ</small> っ <small>て</small> い <small>た</small> 。合 <small>あ</small> 格 <small>かく</small> だ。	中 <small>ち</small> に <small>は</small> 何 <small>な</small> が入 <small>い</small> っ <small>て</small> い <small>る</small> か <small>な</small> 。	家 <small>か</small> に帰 <small>かえ</small> るこ <small>と</small> を帰 <small>かえ</small> 宅 <small>たく</small> と <small>い</small> う。	七時半 <small>しちじはん</small> 、もう学 <small>が</small> 校 <small>が</small> へ行 <small>い</small> く時 <small>とき</small> だ。

たしかめ

23

114	113	112	111	110
角	用	画	番	週
四角形 <small>、</small> 角 <small>を</small> 切 <small>き</small> っ <small>た</small> ら八角形。	火 <small>か</small> の用 <small>よう</small> 心 <small>しん</small> 、マッ <small>マ</small> チ一 <small>い</small> 本 <small>ぼん</small> 、火 <small>か</small> 事 <small>じ</small> の元 <small>もと</small> 。	映 <small>えい</small> 画 <small>が</small> を <small>み</small> る計 <small>けい</small> 画 <small>が</small> を立 <small>た</small> て <small>る</small> 。	今日 <small>けふ</small> のテレビ番 <small>ばん</small> 組 <small>ぐみ</small> を調 <small>しら</small> べ <small>る</small> 。	一週間 <small>いっしゅうかん</small> は七 <small>しち</small> 日 <small>にち</small> です。

たしかめ

20

99	98	97	96	95
にほんのとなりのくにはちゅうごくだ。	好きなかもくは、おんがくです。	よるになり、じゅうごやのつきがでた。	きょうのごぜんちゅうはあめだった。	おとうとはとてもげんきだ。

たしかめ

21

104	103	102	101	100
じぶんのことはじぶんでしよう。	く夫 ^{ふう} して、かみこ ^{さく} う作 ^{さく} をやってみた。	きのうえでせいかつしているリス。	さんすうの計 ^{けい} さんなんか簡単 ^{かんたん} だ。	がいこくごをしようがっこうから習 ^{なら} う。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
やまからさとへおりてきたサル。	答 ^{こた} えが全部 ^{ぜんぶ} あっていた。ごう格 ^{かく} だ。	なかにはなにがはいっているかな。	いえにかえることをき宅 ^{たく} という。	しちじはん、もうがっこうへいくときだ

たしかめ

23

114	113	112	111	110
しかくけい、かどをきったらはちかくけい。	ひのよう心 ^{じん} 、マツチいっぽん、か事 ^じ のもと。	映 ^{えい} がをみる計 ^{けい} かくをたてる。	きょうのテレビばんぐみを調 ^{しら} べる。	いつしゅうかんはなのかです。

たしかめ

24

119	118	117	116	115
京	東	星	明	交
京都にはたくさんの寺がある。	東京は、大阪より東の方にある。	星空だ。土星や金星がよく見える。	照明をつけたら部屋が明るくなった。	道と道、交わるところが交差点。

たしかめ

25

124	123	122	121	120
道	止	西	寺	古
細い道から大きな道路に出る。	電池が切れて時計が止まる。	日本より西にある西洋の国。	金色に輝くお寺、金閣寺。	古い時代を古代という。

たしかめ

26

129	128	127	126	125
米	船	台	原	野
ぜひ食べて。おいしいお米の近江米。	風船を船の上から飛ばした。	すべり台、上から下まで一直線。	原っぱをはだして歩く原始人。	野山にいる鳥を野鳥という。

たしかめ

27

134	133	132	131	130
谷	少	理	作	秋
山の上から谷底を見る。	こづかいが少ない。少し増やして。	理科室は、三年生から使います。	ケーキを作ったことを作文に書く。	さわやかな秋晴れ、秋分の日。

たしかめ

24

1 1 9	1 1 8	1 1 7	1 1 6	1 1 5
きよう都 ^と には たくさん ^{てら} の 寺 ^{てら} がある。	とうきようは、おお阪 ^{さか} より ひがしの ほうにある。	ほしぞらだ。どせいや きんせい ^{きんせい} が よくみえる。	照 ^{しやう} めいをつけたら 部屋 ^{へや} があかるく なった。	道 ^{みち} と道 ^{みち} 、まじわる ところが こう差 ^さ てん。

たしかめ

25

1 2 4	1 2 3	1 2 2	1 2 1	1 2 0
細 ^{ほそ} い みちから おおきな どう路 ^ろ に でる。	でんちが きれて と計 ^{けい} が とまる。	にほんより にしに ある せい洋 ^{よう} の くに。	きんいろに 輝 ^{かがや} く おてら、 きん閣 ^{かく} じ。	ふるい じ代 ^{だい} を こ代 ^{だい} と いう。

たしかめ

26

1 2 9	1 2 8	1 2 7	1 2 6	1 2 5
ぜひ たべて。 おいしい おこめ ^{おこめ} の 近江 ^{おうみ} まい。	ふうせんを ふねの うえから 飛 ^と ばした。	すべりだい、 うえから したまで いっちよくせん。	はらっぱを はだして 歩 ^{ある} く げん始 ^し じん。	のやまに いると りを やちよう という。

たしかめ

27

1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1	1 3 0
やまの うえから たに底 ^{ぞこ} を みる。	こづかいが すくない。 すこし 増 ^ふ やして。	りかしつは、 さんねんせい から 使 ^{つか} います。	ケーキを つくった ことを さくぶん にかく。	さわやかな あきばれ、 しゅうぶん のひ。

たしかめ

28

139	138	137	136	135
冬	心	鳴	首	細
熊は、冬の間は冬眠している。	心細くても、みんながいれば安心だ。	空では雷鳴、鳥も鳴き止む嵐の夜。	百人一首をやりすぎて首が痛い。	この飾り、細かい細工がしてあるね。

たしかめ

29

144	143	142	141	140
市	地	茶	麦	戸
市長さんのお話を聞く。	地球は青くて丸い。	茶色と黒と白の三毛猫。	麦茶を飲んで少し休もう。	台風が近づき雨戸を閉める。

たしかめ

30

149	148	147	146	145
門	才	歩	答	場
門の前に門松を飾る。	子どもは遊びの天才だ。	一日に歩く歩数は一万歩。	正しい答えを正答という。	運動場の砂場で遊ぶ一年生。

たしかめ

31

154	153	152	151	150
馬	室	計	矢	弓
馬二頭、並んで馬車を引いている。	教室で静かに自習をした。	時計を使って時間を計る。	矢が的に当たる。	バイオリンの弓は馬の毛で作る。

たしかめ

28

1 3 9	1 3 8	1 3 7	1 3 6	1 3 5
熊 ^{くま} は、ふゆのあいだはとう眠 ^{みん} している。	こころぼそくても、みんながいれば安 ^{あん} しんだ。	そらでは雷 ^{らい} めい、とりもなきやむ嵐 ^{あらし} のよる。	ひやくにんいつしゆをやりすぎてくびが痛 ^{いた} い。	この飾 ^{かざ} り、こまかいさいくがしてあるね。

たしかめ

29

1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1	1 4 0
しちようさんのおはなしをきく。	ち球 ^{きりゅう} はあおくてまるい。	ちやいろとくろとしろのみけ猫 ^{ねこ} 。	むぎちやを飲 ^の んですこしやすもう。	たいふうがちかづきあまどを閉 ^し める。

たしかめ

30

1 4 9	1 4 8	1 4 7	1 4 6	1 4 5
もんのまえにかど松 ^{まつ} を飾 ^{かざ} る。	こどもは遊 ^{あそ} びのてんさいだ。	いちにちにあるくほすうはいちまんぽ。	ただしいこたえをせいとうという。	運動 ^{うんどう} じようの砂 ^{すな} ばで遊 ^{あそ} ぶいちねんせい。

たしかめ

31

1 5 4	1 5 3	1 5 2	1 5 1	1 5 0
うまにとう、並 ^{なら} んでばしやをひいている。	きようしつで静 ^{しず} かにじ習 ^{しゅう} をした。	とけいを使 ^{つか} ってじかんをはかる。	やが ^ま 的にあたる。	バイオリンのゆみは馬 ^{うま} のけでつくる。

160	159	158	157	156	155
強	弱	売	走	牛	北
相 ^{あい} 手は強 ^い ぞ、強 ^{てき} 敵だ。	弱 ^{じやく} い動物 ^{どうぶつ} を食 ^く べる「弱肉強食」。	新聞も本も売 ^う っている駅 ^{えき} の売店。	助 ^{じよ} 走 ^{そう} から一 ^{いっ} 氣 ^き に全 ^{ぜん} 力 ^{りき} で走 ^{はし} り切 ^き った。	近 ^{おう} 江 ^み 牛 ^{ぎゅう} 、牛 ^{ぎゅう} の肉 ^{にく} では最 ^{さい} 高 ^{こう} 級 ^{きゅう} 。	日 ^{にっ} 本 ^{ぽん} の一番 ^{いちばん} 北 ^{きた} は北 ^{きた} 海 ^{かい} 道 ^{どう} 。

160	159	158	157	156	155
相 ^{あい} ては つよいぞ、きよう敵 ^{てき} だ。	よわい 動物 ^{どうぶつ} を たべる「じゃくにく きようしよく」。	しんぶんも ほんも うっている 駅 ^{えき} の ばいてん。	助 ^{じょ} そうから いつきに 全 ^{ぜん} りよくで はしりきった。	近 ^{おうみ} 江ぎゆう、うしの にくでは 最 ^{さい} こう級 ^{きゅう} 。	にほんの いちばん きたは ほつかいどう。

2年生で習う漢字

1	読	31	体	61	点	91	親	121	寺	151	矢
2	雪	32	長	62	買	92	父	122	西	152	計
3	声	33	近	63	引	93	母	123	止	153	室
4	言	34	同	64	羽	94	兄	124	道	154	馬
5	行	35	今	65	雲	95	弟	125	野	155	北
6	南	36	会	66	夏	96	午	126	原	156	牛
7	図	37	社	67	公	97	夜	127	台	157	走
8	書	38	刀	68	園	98	科	128	船	158	売
9	方	39	切	69	通	99	国	129	米	159	弱
10	絵	40	内	70	万	100	語	130	秋	160	強
11	知	41	店	71	頭	101	算	131	作		
12	春	42	姉	72	来	102	活	132	理		
13	思	43	妹	73	鳥	103	工	133	少		
14	記	44	線	74	歌	104	自	134	谷		
15	曜	45	汽	75	分	105	時	135	細		
16	肉	46	海	76	回	106	帰	136	首		
17	話	47	魚	77	直	107	何	137	鳴		
18	聞	48	広	78	紙	108	合	138	心		
19	黄	49	前	79	遠	109	里	139	冬		
20	色	50	元	80	友	110	週	140	戸		
21	黒	51	岩	81	朝	111	番	141	麦		
22	太	52	食	82	顔	112	画	142	茶		
23	毛	53	教	83	毎	113	用	143	地		
24	高	54	光	84	当	114	角	144	市		
25	風	55	家	85	間	115	交	145	場		
26	晴	56	池	86	昼	116	明	146	答		
27	多	57	組	87	半	117	星	147	歩		
28	新	58	後	88	電	118	東	148	才		
29	考	59	数	89	外	119	京	149	門		
30	形	60	丸	90	楽	120	古	150	弓		